

「新たなステージ」を目指した グローバル・クラウドサービスの展開

NTTグループは、2012年11月8日に発表した新中期経営計画「新たなステージを目指して」を踏まえ、グローバル・クラウドサービスを事業の基軸にするために、日本国内のみならず北米でのビジネス展開や技術開発の強化を進めている。今回、NTTの片山泰祥代表取締役副社長に、今後のグループ全体のクラウド分野での取組みについて詳しくお聞きした。

新たなステージを目指して

これまでNTTグループは、クラウド分野において、国内外の各事業会社が企業向けから個人向けまでの幅広いクラウドサービスを提供し、サービスラインアップの拡充を図ってきた。新中期経営計画でも示されたように、クラウドサービスは、今後、ますます重要な位置づけとなってきている。そうしたなか、「新たなステージ」とクラウドサービスとの関係や技術開発も含めたクラウド分野での取組みについて、片山泰祥代表取締役副社長は次のように語る。

バリューパートナーへの変革

「昨年11月の新中期経営計画で掲げた『新たなステージを目指して』というタイトルは、NTTグループが次のステージに向かっていく心構えを表したものです。固定、移動、クラウドビジネスという、現在の我々のビジネスドメインは様々な変化を遂げ、また、その変化はドメインごとに違います。例えば、現在のインターネットがより付加価値の高い『ネットとリアルが相互に融合したサービス』へと変革し、これまでインターネットの世界で起きていた

様々な変化が、これからはリアルな現実社会でも起こってきます。このような変化に対応するためには、現在のステージにとどまっていたは新たな成長が見込めません。また、次のステージを目指すためには、NTTグループに求められる役割も変わってきています。

つまり、これまでのサービス提供者としての立場から、企業のお客さまのビジネスモデル変革や個人のお客さまの豊かなライフスタイルをサポートし、お客さまに選ばれ続けるバリューパートナーへと変革していく。そこでは、より簡単・便利、より安心・安全に、お客さまの要望をかなえていくことが求められるでしょう。」

新たな事業の基軸としての グローバル・クラウドサービス

「NTTグループは、これまで音声、IP、ソリューション・新分野といった区分で事業をとらえてきましたが、市場が大きな変化を遂げ、NTTグループの収益構造も変化する中で、今後は、グローバル・クラウドサービスとネットワークサービスという大きな2つの柱でサービスを創っていくことになります。

世の中を大きく変え得るクラウド



日本電信電話株式会社
代表取締役副社長 片山 泰祥氏

やビッグデータといった技術は重要であり、NTTグループがお客さまにパートナーとして選ばれるためにも、グローバル・クラウドサービスを強化し、新たな事業の基軸として成長させることが求められています。

クラウドサービスの強化という観点では、クラウド導入を検討しているお客さまの多くはセキュリティに対する不安があることから、クラウドのためのセキュリティはますます重要になってきます。この分野においてNTTグループは、最先端のR&D技術を持ち、世界50カ国以上でサービスを提供していることから世界最大級のセキュリティインテグレートといえます。

また、これまでのクラウド技術、特にオープンソースを活用した研究開発により、グループ各社のそれぞれ

れのクラウド基盤を強化し、各クラウドを連携させることで世界トップレベルの性能を持ったクラウドサービスの提供を目指していきます。」

グローバルビジネスの展開と北米R&D拠点の創設

NTTグループのクラウドサービスはどのように進化し、そのための具体的な取組みについてもお聞きした。

NTTグループのクラウドサービスの特長

「世界トップレベルの性能とは、柔軟・迅速、低コスト、安心・安全というクラウド本来の特性において最高レベルを目指し、そして、これを継続的に進化させるということです。さらに、既存システムからクラウドへの円滑な移行サポートや、クラウドとネットワークの連携、運用管理の自動化による迅速なトータルオペレーション提供などがNTTグループのクラウドの大きな特長となります。」

グローバル市場におけるセキュリティ・クラウド分野の取組み

「セキュリティ分野では、世界最大級のセキュリティインテグレーションとしての不動の地位を獲得することを目標として設定しています。

そのために、NTT研究所はグローバルで活躍するグループ会社のセキュリティビジネスをさらに強化する技術を提供していきます。例えば、MSS (Managed Security Service) ビジネスを支える技術である、SIEM (Security Information and Event Management) エンジンにより新たな脅威を検出し、よりお客さまの環境を安全に保つことができるようになります。

また、クラウド分野では、これまでNTT研究所は、オープンソースのコミュニティとも深く関わり、特に仮想ネットワーク技術のクラウドでの活用について、率先して方式の提案と実装、ソースプログラムの公開をすることで、コミュニティとの良好な関係を築き、技術ノウハウも

蓄積してきました。

これらのオープンソース技術を商用サービスにも適用することで、ネットワークを含めた即時提供が可能なIaaS (Infrastructure as a Service) とオンプレミスシステムからのクラウド移行サポート、複数のクラウドを組み合わせた最適なコスト・パフォーマンス、そして安価なストレージサービスを実現し、世界トップレベルのクラウドサービスを提供していきます。」

北米R&D拠点の創設

「さらに、R&Dを強化する目的で、クラウドやセキュリティといったICTに関する研究開発が最も活発な北米において、新たなR&D拠点として『NTT Innovation Institute Inc. (以下、NTT I³)』という新会社を創設しました。

“何か新しいもの”を生み出そうとするときには、場所の問題は重要です。その意味で、北米はシリコンバレーに代表されるように先進的な試みをしている企業が集まり、最適な風土と規制の問題も少ないことから、創造的な活動の場としてふさわしいと考えています。

NTT I³は、現時点では約30名のメンバーがセキュリティ分野とクラウド分野の研究開発に取り組んでいますが、出来るだけ早い段階で100名規模の体制を整え、北米を中心とした研究開発をさらに加速していきます。」



図1 北米R&D拠点の創設